

我孫子市消費者の会

お知らせ

2015年10月21日 第41期 No. 7-471

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

晴れた日の秋の空はきれいですね。雲の形を見ていると、ある程度の天気予報ができて、それも楽しいです。皆さまお元気ですか？

27年度消費生活の安定及び向上に向けた 県民提案事業

認知症でも安心して暮らせる地域を 学校から作ろう

新聞もテレビも連日のように認知症の人の増加を報じています。一方国は介護保険や医療保険の改定で、「最期は自宅で」という方針を出しました。我孫子市消費者の会は、今年の県民提案事業の延長線上で、今年は学校の授業をさせていただきます。

その中で使うために子どもに理解できるように「認知症って知ってる？」というパンフレットを作りました。会員にも配布しますので、どうぞご家族でお読みください。

11月定例会

11月2日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室
勉強会 せっけんの上手な使い方 実演

人気のプリプリせっけんでいろいろな汚れが取れることを実演します。是非多くの方のご参加を。

高齢社会への対応を探る会報告

10月3日(土) けやきプラザふれあいホールに180名余の参加者を迎えて開きました。

この中で「市民の思い」を小川さんの発案で5人が舞台上で発表しました。たまたま発表者はすべて、消費者の会の会員でした。転載させていただきます。お読みください。

小川 みなさん今日は。

「市民の思いと提案」の司会を務めます小川と申します。布佐に住んでおります。どうぞよろしく願いいたします。

介護保険が施行されて今年で15年経ちます。私たちにとって、身近な制度になってきたといえると思います。そんな中で、昨年、「介護保険法」改正や、医療と介護を地域で連携させていこうという法律が新たに制定されました。

これらによって、制度の面でもお金の面でも大きく変わっていくといわれています。この変わり目に、わたしたち市民が、どのような「思い」「不安」あるいは「期待」をもっているか、その一端をこれから四人の方にそれぞれ御発言していただきましょう。

遠藤 国の介護政策への不安

私は司会者が話された「不安」のところに触れてみます。

国の介護政策がどうも利用者負担を重くし、一方ではサービスの範囲を縮小していく方向に向かっているのではないかと心配なんです。

これまで全国一律で給付されていた要支援者のホームヘルプサービスとデイサービスが来年28年度から市の事業に移されると聞いています。それに伴ってサービス量制限されたり、利用料金が上がるのではないかと不安だと心配する人も少なくないと思います。

さらには近い将来、訪問介護や通所リハビリ、また他の要支援者への給付も同じように市の事業に移すとくには言っています。それらへの対応を市民も行政もしっかり考えておかななくてはならないと、私は思っています。

和田 認知症は家族だけでなく社会で

私は認知症について話します。

私自身も高齢者ですから、認知症については他人事ではなく、いろいろ考えてきました。まず、認知症は誰でもがなるものであると理解すること、早めの受診と専門家への相談が大切です。それによって進行を遅らせることも出来ません。家族は、本人がおかしなことを言っても、否定するのではなく、寄り添う姿勢が大切です。

国は今回の改革で、「出来るだけ在宅」という方針を出していますが、認知症の場合は、介護者がうつになったり、認知症の人を殺してしまったり、という事件まで起きています。家族だけで頑張らないで、社会の制度も利用する、専門の施設も利用することが大切です。費用の問題もありますから、必要な人は入れるように、国も市も、今後も考えて欲しいと思います。

また、在宅で見られている方を、ご近所の方達も暖かく見守ってあげる、お手伝いする地域作りも大切です。我孫子市消費者の会では、昨年「認知症になっても安心して暮らせる地域を作ろう」という県民提案事業の認可を受け、キャンペーンを実施しました。今年は子どもたちにも知ってほしいと、小中学校で授業をさせてもらいます。市の施策とも協力して安心できる町をみんなで作りたいですね。

誰でも認知症にはなると言いましたが、少しでも遅らせるには、出来るだけ人と交わることが大切でしょう。市民活動やボランティア活動をしていると、仲間と話し、笑うことが多くなりますから、それが一番だねと、先ほど準備をしながらみんなで話しました。どうぞ皆さんもお仲間になってください。

坂巻 在宅での医療と介護を支える地域づくりを

昨年の法改正で、これからは介護と医療とが一体的に進むことになりました。「ほぼ入院」から「ほぼ在宅、時々入院」へとか、治す医療から「支える医療」などへの転換と表現されてい

ます。医療費を削減したいという国の大方針から進められている分けですが、やっぱりこのまま入院したいと思っている方も多し、本人が「自宅に帰りたい」、家族も「帰ってきて欲しい」と思っても、我が家で果たして「支える医療」などできるのかしらいう「戸惑いと不安」があるのは事実です。こうした「戸惑いと不安」に応えるには、病院側と、本人や家族と話し合いのうえで退院計画を立てていただいて、地域に戻された患者の方を在宅医療と介護の両面から支える受け皿を計画的に整備して欲しいと強く要望したいと思います。

木田 元気な時は担い手に

私は市民活動についてお話ししたいと思います。私は住まいとは別に高齢者の居場所としての活動団体を起こしてから11年経ちました。

また、この高齢社会への対応を探る会にも参加していますが、これからの地域社会においては特に支えあいの形で、介護や高齢者福祉を充実させる必要があると感じています。市民活動団体の中にも、高齢者へのサービスの活動として買い物や病院への送迎、庭木の剪定や草刈り、片付け、または住宅の段差解消や手すりの取り付けなど行っています。需要は高齢化に伴い増えてきていますが、それに反して市民活動団体も高齢化が進み、担い手が非常に少なくなってきて、活動自体が存続の危機に陥っています。必要とされ期待もされているようですが、求む、後継者です。また、市民の見守りをすすめている地域も増えてきました。これからはいろいろな活動を行っている市民団体などの横の連携もつなげて情報を共有することも必要ではないでしょうか。

小川 先進事例を積極的に広報を、我孫子らしい体制づくりをご一緒に

ご発言いただいた皆様ありがとうございました。今日ご参加のみなさんも多くの懸念や不安をお持ちではないかと思います。只今の四人の方々の発言はそれらの一端だとお考えください。後ほどの高齢者支援課の森課長のお話や、佐藤

先生、さらには結城先生のご講演のなかで受けとめていただければ幸いです。

最後に司会から 我孫子市への要望を一つ、そして市民の皆様への呼びかけを一つ、させていただきますと思います。

我孫子市はこれまでもいろいろの機会や媒体を通じて介護保険制度や高齢者向けサービスに関する情報を提供していただいております。しかし、「地域包括ケアシステム」などという小難しい言葉をつぎつぎに国が作っていることもあって、私たち市民は新しい制度をまだ十分に呑み込んでいません。制度の説明の面で市にはいっそうのご努力をお願いしたいと思います。

それと、先ほどの木田さんのお話にもありましたように、市内でも高齢者福祉や、介護支援サービスなどに取り組む地域や団体が出てきております。このような先進的な取り組みを積極的に紹介していただきたいと思います。

次に市民の皆様への呼びかけです。介護が必要になったとき、市民の連帯で支え合うことが基本です。このことは介護保険法の中にも明記されています。「行政におまかせ」と依存するだけではなく、また「行政はこうすべきだ」と責めるだけではなく、私たち市民一人ひとりが当事者主権の意識を持つことが重要だと思います。そのうえで立って、我孫子市や、介護、医療に携わる専門の人びと、事業者の人びとと力を合わせて、「我孫子にできる、我孫子らしい」体制を作っていくことが大切だと思います。本日のイベントを通じてこのことを感じ取っていただければ幸いです。 以上

淑徳大学の結城康博先生はご講演の中で、「これからの人口の変化を見ると、今の介護保険制度をそのままにしておくわけにはいかない。団塊の世代、団塊2世の世代と、その合間の世代、後の世代の人口の変化を国民は直視して欲しい。

その上で、同世代間で、すべてを解決して欲しい」とおっしゃいました。

そのために何をするか、元気な高齢者が、弱くなった高齢者のために働くことが必要ですと。

今後も様々なことを学習しながら、できることをみんなで力を出し合うことを考えて行きましょう。

千葉県消費者団体連絡協議会の 県民提案事業

食品表示の変更情報の普及と消費者被害防止

「お知らせ8月号」にも書きましたが、今年4月から食品表示が変わりました。(完全実施は32年)

その中で、「機能性表示食品」という表示制度が新に出来ました。これについて、アンケートに協力していただくのが、今年の県民提案事業です。アンケートの部分を、右にコピーします。

11月の定例会では、消費者庁制作のパンフレットも差し上げて、何が問題なのか？消費者はどう対応したら良いのかも話し合います。

是非ご参加ください。

我孫子市消費生活講座 今日から始める「若い」支度

日時 10月30日(金) 10:30～

会場 アビクオーレ ヨーカドー3階

講師 消費生活アドバイザー明石久美氏

申込 7185-1469消費生活センター
是非ご参加ください。

認知症予防講演会 「今日からできる脳の活性化」

日時 11月12日(木) 13:30～

会場 けやきプラザホール

講師 東京都健康長寿医療センター研究所
谷口優氏

申込 不要

(今回は裏面までになりましたことをお許しく
ださい)